

「徳島県の総合的な水害・土砂災害対策」について

◇総合流域防災会議：

徳島県と四国地方整備局では、河川や地域の特性を踏まえ徳島県内に吉野川圏域、那賀川圏域、海部圏域を設定し、平成17年4月22日に各圏域毎の総合流域防災協議会を設置。

◇目的：圏域ごとの水害・土砂災害の現状と課題、当面の事業の進め方について情報共有・調整を図り、効果的、効率的な水害・土砂災害対策を進める。

◇公表：その結果を「徳島県の総合的な水害・土砂災害対策」としてとりまとめ、記者資料提供や徳島県及び四国地方整備局の県内各事務所ホームページを通じて一般に公表する。

◇背景：

- ①平成16年の全国で頻発した豪雨災害を契機に、豪雨災害等の総合的な水害・土砂災害対策を進めるため、流域毎に総合流域防災協議会を設置する(国土交通省河川局H17.3.31通達)。
- ②国管理区間、県等管理区間を含む流域全体の状況や整備の進め方について情報共有・調整等を行って、効果的・効率的な水害・土砂災害対策を推進する。

ホームページアドレス

徳島河川国道事務所	http://www.toku-mlit.go.jp/
那賀川河川事務所	http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/
四国山地砂防事務所	http://www.skr.mlit.go.jp/sabo/
吉野川ダム統合管理事務所	http://www.skr.mlit.go.jp/yoshino/
徳島県県土整備部	http://doboku.pref.tokushima.jp

平成20年 5月30日

徳島県 吉野川圏域総合流域防災協議会
徳島県 那賀川圏域総合流域防災協議会
徳島県 海部圏域総合流域防災協議会

【問い合わせ先】

全般 国土交通省 徳島河川国道事務所 TEL:088-654-9611
副 所 長 山地 秀樹 (内線204)
徳島県 県土整備部 河川課 TEL:088-621-2574(直通)
主 幹 松野 幸博
徳島県 県土整備部 砂防防災課 TEL:088-621-2542(直通)
課 長 補 佐 折目 啓介

※個別事業等については、以下の連絡先へお問い合わせ下さい。

吉野川圏域

国土交通省関係

河川関係 徳島河川国道事務所 TEL:088-654-9611
副所長 山地 秀樹(内線204)
ダム関係 吉野川ダム統合管理事務所 TEL:0883-72-3000
管理課長 松本 司(内線331)
砂防関係 四国山地砂防事務所 TEL:0883-72-5400
副所長 鷺津 隆廣(内線204)

徳島県関係

河川関係 県土整備部 河川課 TEL:088-621-2574(直通)
主 幹 松野 幸博
ダム関係 県土整備部 流域整備企画課TEL:088-621-2626(直通)
課長補佐 手塚 文敬
砂防関係 県土整備部 砂防防災課 TEL:088-621-2542(直通)
課長補佐 折目 啓介

那賀川圏域、海部圏域

国土交通省関係

河川・ダム関係 那賀川河川事務所 TEL:0884-22-6461
副所長 藤岡 康男 (内線204)

徳島県関係

河川関係 県土整備部 河川課 TEL:088-621-2574(直通)
主 幹 松野 幸博
ダム関係 県土整備部 流域整備企画課TEL:088-621-2626(直通)
課長補佐 手塚 文敬
砂防関係 県土整備部 砂防防災課 TEL:088-621-2542(直通)
課長補佐 折目 啓介

徳島県の総合的な水害・土砂災害対策

～安全・安心の地域づくり～

徳島県 吉野川圏域総合流域防災協議会
徳島県 那賀川圏域総合流域防災協議会
徳島県 海部圏域総合流域防災協議会

四国地方整備局 徳島河川国道事務所
四国地方整備局 那賀川河川事務所
四国地方整備局 四国山地砂防事務所
四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所
徳島県 県土整備部 河川課・流域整備企画課・砂防防災課

総合流域防災協議会とは…

国土交通省四国地方整備局と徳島県は、豪雨災害等の総合的な水害・土砂災害対策を進めるため、河川や地域の特性を踏まえ徳島県を3つの圏域に分割し、平成17年4月22日に各圏域毎の総合流域防災協議会を設立しました。

今後、総合流域防災協議会で、国と県が連携して圏域毎に今後の治水対策の方針を作成し、ハード・ソフト一体となった総合的な水害・土砂災害対策の推進を図ります。



水害・土砂災害の現状と課題、当面の事業の進め方

平成16年度は、四国に史上最多を数える6個の台風が上陸し、徳島県では、死者・行方不明者5名、被害戸数延べ約7,300棟など、各地に大きな被害が発生しました。また、平成17年度も県内各地に被害を及ぼす台風が襲来するなど、毎年のように水害・土砂災害が発生しております。

こうした毎年繰り返される水害や土砂災害の解消を図るとともに、平成16年、平成17年と相次いだ水害・土砂災害等から明らかになった新たな課題に対し、ハード整備とソフト対策を国と徳島県が連携し、一体的に推進することにより、効率的な減災体制の確立を目指します。

具体的な圏域毎の水害・土砂災害の現状と課題、当面の事業の進め方を次ページ以降に示します。

徳島県における近年の水害・土砂災害

吉野川圏域

吉野川の外水氾濫(三好市三加茂町)

【平成16年台風23号】



吉野川の内水被害(美馬市脇町)

【平成17年台風14号】



吉野川の内水被害(吉野川市鴨島町)

【平成16年台風23号】



園瀬川の外水氾濫(徳島市)

【平成16年台風23号】



祖谷川流域の土砂災害(三好市東祖谷山)

【平成16年台風16号】



祖谷川流域の土砂災害(三好市西祖谷山)

【平成11年梅雨前線】



吉野川流域の土砂災害(三好市池田町)

【平成16年台風21号】



那賀川圏域

桑野川の内水被害(阿南市)

【平成11年梅雨前線】



那賀川上流域の土砂災害(那賀郡那賀町)

【平成16年台風10号】



福井川の外水氾濫(阿南市)

【平成15年前線】



支川榑地川の出水状況(阿南市)

【平成15年前線】



那賀川の外水氾濫(那賀郡那賀町)

【平成16年台風23号】



海部圏域

穴喰川の外水氾濫(海部郡海陽町)

【平成10年前線】



水害・土砂災害の現状と課題、対策の当面の進め方

吉野川圏域



□対策の当面の進め方

○吉野川水系では、平成17年11月18日に吉野川水系河川整備基本方針が策定されたところであり、今後、速やかに河川整備計画の策定を行います。

※図中の番号は、「現状と課題、当面の進め方」の番号に整合しています。

土砂災害対策

□土砂災害の現状と課題

- ①【国土交通省】祖谷川流域では、平成11年6月の梅雨前線、平成16年台風16号、平成17年台風14号により、各所で崩壊や土石流が発生し、家屋被害や道路の寸断が発生。
- ②【国土交通省】「祖谷のかずら橋」周辺地区は全国有数の破碎帯地すべり地帯であり、規模も大きく変状も認められることから、着実な地すべり対策の推進が必要。
- ③【徳島県】毎年繰り返される土砂災害に対して、人的被害を最小限とするため、災害時要援護者関連施設の保全、避難所の保全などの強力な推進が必要。

□対策の当面の進め方

- ①【国土交通省】祖谷川流域の直轄砂防区域において、近年に土石流が発生した渓流や未着手の土石流危険渓流の対策、主要な道路の保全などの土砂災害対策を推進します。
- ②【国土交通省】地すべり防止区域(善徳地区)において、周辺集落・幹線道路・観光施設などの保全のための地すべり対策を推進します。
- ③【徳島県】通常砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業等によるハード対策、及び、土砂災害の恐れのある区域の調査及びハザードマップの作成などのソフト対策により、災害予防を推進します。

水害(外水)対策

□水害の現状と課題

- ①【国土交通省】吉野川岩津～池田間の堤防整備率は、約71.8%であり、戦後最大流量を記録した平成16年台風23号などにより、各所で外水氾濫が頻発。
- ②【国土交通省】吉野川河口～岩津間の堤防は、築堤時期が古く漏水対策が不十分のため、平成16年の大出水で漏水被害頻発。
- ③【国土交通省】旧吉野川・今切川の堤防整備率は約34.2%と極めて低く、浸水被害発生。
- ④【徳島県】吉野川北岸の支流は天井川が多く、災害に対して常に潜在的な危険を有する。
- ⑤【徳島県】徳島市を流れる園瀬川に無堤部があり、市街地での浸水が頻発。
- ⑥【国土交通省】近年の洪水による甚大な災害に対し、早明浦ダムなど吉野川水系における既設ダムでは、防災機能を一層向上させるための有効活用が緊急の課題。

□対策の当面の進め方

- ①【国土交通省】吉野川岩津～池田間無堤部の水害軽減に向け、事業を実施中の箇所等の築堤等整備を促進します。
- ②【国土交通省】吉野川河口～岩津間において、漏水が発生した区間の災害復旧を行うとともに、計画的に漏水対策(堤防の質的整備)を推進します。
- ③【国土交通省】旧吉野川の無堤箇所等、事業実施中の新喜来上流箇所の築堤等整備を促進します。
- ④⑤【徳島県】平成16年台風23号の外水氾濫で甚大な浸水被害を受けた園瀬川など補助河川の改修を促進します。また、柴川谷川において柴川生活貯水池の建設により治水対策を進めます。
- ⑥【国土交通省】早明浦ダム等吉野川流域の既存ダムでは、ダム施設の有効活用の検討を図るとともに、適切な防災情報の提供に努めます。

水害(内水)対策

□水害の現状と課題

- ⑦【国土交通省】【徳島県】吉野川河口～岩津間の支川流域については、低平地であり流下機能が不足している箇所が多く、洪水時には吉野川本川水位の影響を受け、内水氾濫が頻発。
- ⑧【国土交通省】【徳島県】吉野川市～徳島市の飯尾川は流下機能が不足し、沿川の市街地で浸水被害が頻発。
- ⑨【徳島県】旧吉野川と山に挟まれた鳴門市等でも旧吉野川本川水位の影響を受け、浸水被害発生。
- ⑩【徳島県】紀伊水道に面した小松島市等では潮位の影響により河川が流下機能を失い、市街地が長時間の冠水。

□対策の当面の進め方

- ⑦⑧【国土交通省】【徳島県】平成16年の台風23号により甚大な浸水被害を受けた飯尾川、桑村川などで、国土交通省が内水対策を推進するとともに、徳島県が飯尾川などで河川整備を推進し、内水による浸水被害の軽減を目指します。
- ⑨⑩【徳島県】河川改修事業、高潮対策事業を推進し、浸水被害の軽減を目指します。

危機管理

□対策の当面の進め方

○【国土交通省】【徳島県】施設能力以上の洪水が発生した場合の減災対策としてハザードマップ作成への支援や防災訓練などのソフト施策を行います。

水害・土砂災害の現状と課題、対策の当面の進め方

那賀川圏域

□対策の当面の進め方

○那賀川水系では、平成18年4月に那賀川水系河川整備基本方針を策定しました。平成19年6月14日に那賀川水系河川整備計画を策定しました。今後は、那賀川水系河川整備計画に基づき事業を着実に実施していきます。

水害(外水)対策

□水害の現状と課題

- ①【国土交通省】【徳島県】那賀川の上流の無堤地区や上流部県管理区間及び支川桑野川の無堤地区では、外水氾濫が頻発。
- ②【徳島県】福井川中流部に無堤地区があり、外水氾濫による浸水被害が発生。
- ③【国土交通省】那賀川下流部では、洪水の度に局所洗掘が発生し、また堤防漏水も頻発し、護岸及び根固め等が被災。
- ④【国土交通省】那賀川の洪水調節施設の中心的役割を担う長安ロダムは、洪水調節容量、放流能力が不足している。

□対策の当面の進め方

- ①②【国土交通省】【徳島県】那賀川上流の無堤地区や桑野川、岡川、などの無堤地区において、築堤事業などの河川整備を推進します。
- ②【徳島県】福井川では、床上浸水対策特別緊急事業により平成15年度の洪水に対する床上浸水被害解消を目的として、引堤及び堰改築等を推進します。
- ③【国土交通省】公共施設災害に対して、災害復旧事業を推進します。
- ④【国土交通省】長安ロダムの有効活用を図るため、改造による洪水調節機能の増強及び堆砂対策に向けた事業を進めます。

水害(内水)対策

□水害の現状と課題

⑤【国土交通省】那賀川支川桑野川沿川で、浸水被害が頻発。平成10～11年には甚大な床上浸水被害が発生。

□対策の当面の進め方

⑤【国土交通省】那賀川支川桑野川では、床上浸水対策特別緊急事業により平成11年度の洪水に対する床上浸水被害の解消等を目的として、引堤及び排水機場の新設等を推進します。

土砂災害対策

□土砂災害の現状と課題

⑥【徳島県】那賀川上流では、平成16年台風10号により市宇地区(那賀町)で土石流が発生するなど土砂災害が発生。大雨の度に避難を余儀なくされており、早急な安全確保が必要。

□対策の当面の進め方

⑥【徳島県】通常砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業等により、人的被害の軽減に向けた災害時要援護者関連施設の保全、避難所の保全等を強力に推進します。

危機管理

□対策の当面の進め方

○【徳島県】南海地震による津波被害の軽減に向けて、避難場所の創出に寄与する急傾斜地崩壊対策事業を推進します。
○【国土交通省】【徳島県】水害・土砂災害の恐れのある区域の調査及びハザードマップの作成支援など、災害予防に向けたソフト対策を推進します。



※図中の番号は、「現状と課題、当面の進め方」の番号に整合しています。

海部圏域

水害(外水)対策

□水害の現状と課題

①【徳島県】宍喰川や奥湯川の河道狭小部では、外水氾濫が頻発。

□対策の当面の進め方

①【徳島県】宍喰川などの河道狭小部においては、その解消に向けた改修事業などの河川整備を推進します。

土砂災害対策

□土砂災害の現状と課題

②【徳島県】流域の複雑な山地地形と太平洋気流の影響を受けた局地的な集中豪雨により、土砂災害が頻発。

□対策の当面の進め方

②【徳島県】通常砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業等により、土砂災害対策を推進します。

□対策の当面の進め方

○【徳島県】南海地震による津波被害の軽減に向けて、避難場所の創出に寄与する急傾斜地崩壊対策事業を推進します。
○【徳島県】水害・土砂災害の恐れのある区域の調査及びハザードマップの作成支援など、災害予防に向けたソフト対策を推進します。

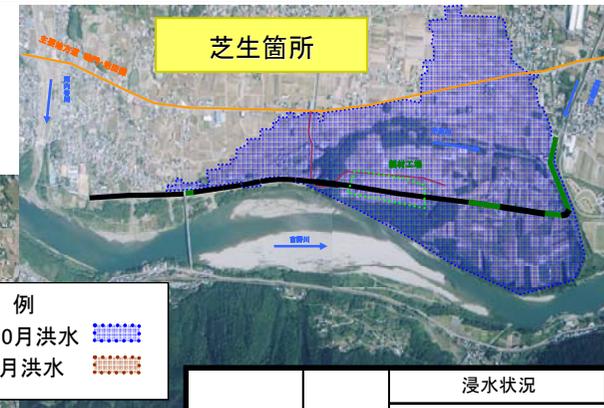
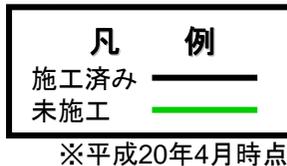
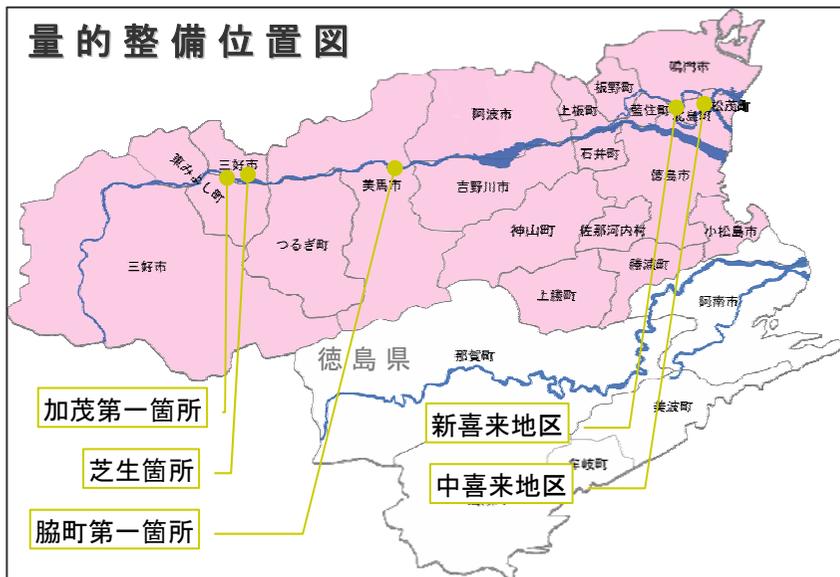
危機管理

水害・土砂災害対策の事業効果について

吉野川圏域

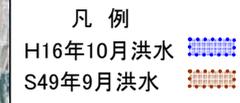
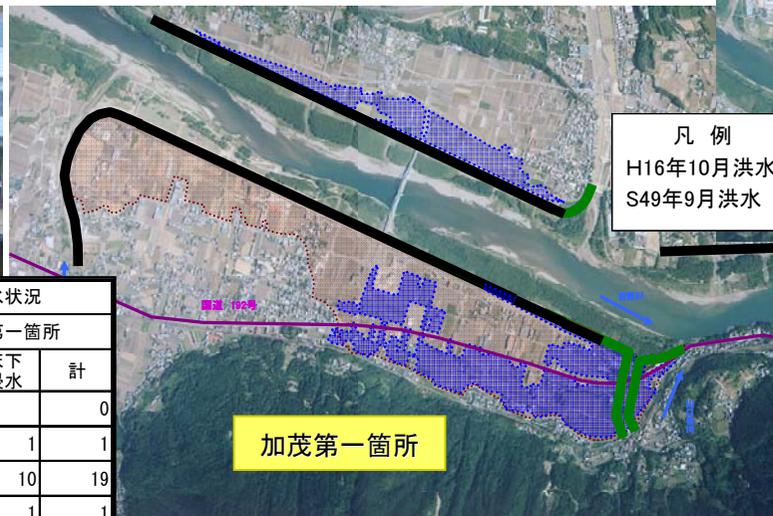
吉野川河川改修事業

量的整備位置図



平成16年10月洪水の外水氾濫により浸水した状況
(東みよし町三加茂)

洪水生起日	原因	浸水状況		
		加茂第一箇所		
		床上浸水	床下浸水	計
H9. 9. 17	台風19号			0
H16. 8. 1	台風10号		1	1
H16. 8. 31	台風16号	9	10	19
H16. 9. 29	台風21号		1	1
H16. 10. 23	台風23号	15	19	34
H17. 9. 7	台風14号	1		1



洪水生起日	原因	浸水状況		
		芝生箇所		
		床上浸水	床下浸水	計
H9. 9. 17	台風19号		8	8
H16. 8. 1	台風10号			0
H16. 8. 31	台風16号	30	8	38
H16. 9. 29	台風21号			0
H16. 10. 23	台風23号	25	31	56
H17. 9. 7	台風14号		2	2

水害・土砂災害対策の事業効果について

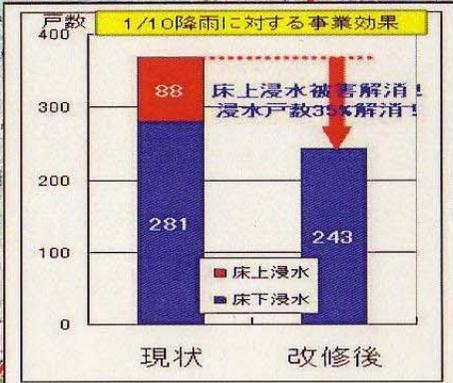
吉野川圏域

総合内水対策特別緊急事業(飯尾川)

床上浸水対策特別緊急事業



床上浸水対策特別緊急事業
角の瀬排水機場新設20m³/s



- 凡 例
- 内水河川
 - 内水流域界
 - 浸水実績 (平成16年台風23号)



総合内水対策緊急事業
飯尾川第二樋門改築
河川改修1.2km 等

水害・土砂災害対策の事業効果について

吉野川圏域

位置図



直轄砂防事業(とびのす谷)

三好市西祖谷山村のとびのす谷では、平成11年6月の梅雨前線豪雨により土石流が発生、ホテルの一部が破傷、みやげ物屋が全壊したほか、県道が160mにわたり土砂で埋没しました。現在では、とびのす谷えん堤が概ね完成し再度災害防止の着実な成果が得られています。



土石流により約6,000^m³の土砂が流出！

河床や崩壊箇所に残る約7,000^m³の不安定土砂を砂防えん堤で捕捉する

土石流により被災したホテルと土砂により埋没した県道



対策後の状況



水害・土砂災害対策の事業効果について

那賀川圏域

直轄床上浸水対策特別緊急事業(桑野川)



戦後最大洪水(平成11年6月洪水)での床上浸水防止

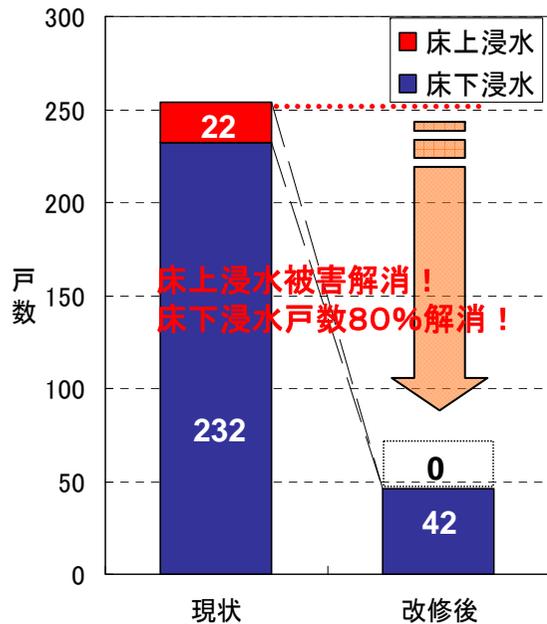
大津田排水ポンプ場



床上浸水対策特別緊急事業

- ・桑野川左岸の引堤3.2km
- ・大津田排水ポンプ場10m³/s
- ・川原排水ポンプ場5m³/s

排水ポンプ場設置による事業効果



床上浸水被害解消!
床下浸水戸数80%解消!

注) 浸水戸数はシミュレーションによる結果です。



ポンプがない場合
ポンプがある場合

那賀川長安口ダム改造事業

位置

事業概要

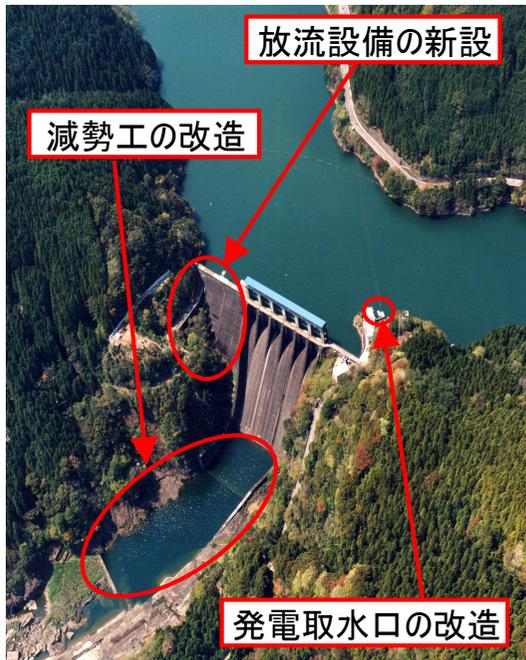


- ◇ 場所：徳島県那賀郡那賀町(那賀川水系那賀川)
- ◇ 目的：洪水調節(那賀川の洪水防御)
流水の正常な機能の維持

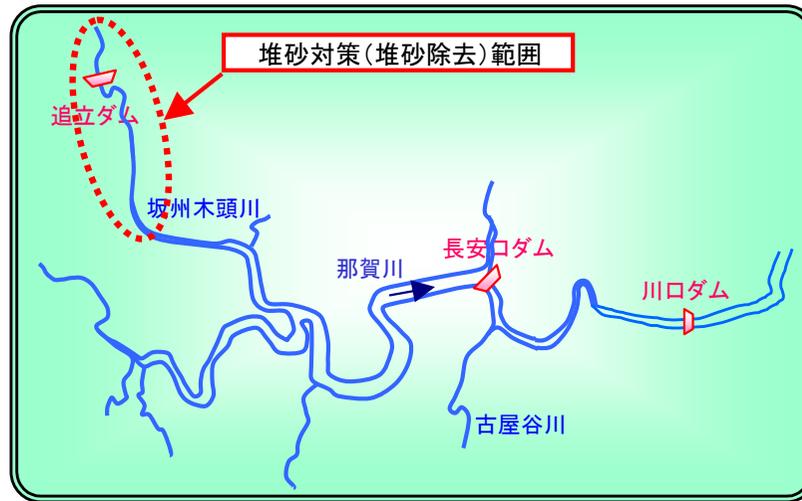
- ◇ 整備概要：
 - 洪水放流能力向上のための放流設備の新設、減勢工の改造
 - ダム下流の水質改善のため発電取水口を改造
 - 堆砂による有効容量の減少を防止するための堆砂除去

- ◇ 総事業費：約 400 億円
- ◇ 平成20年度実施計画額：10.0 億円
- ◇ 平成20年度事業内容：

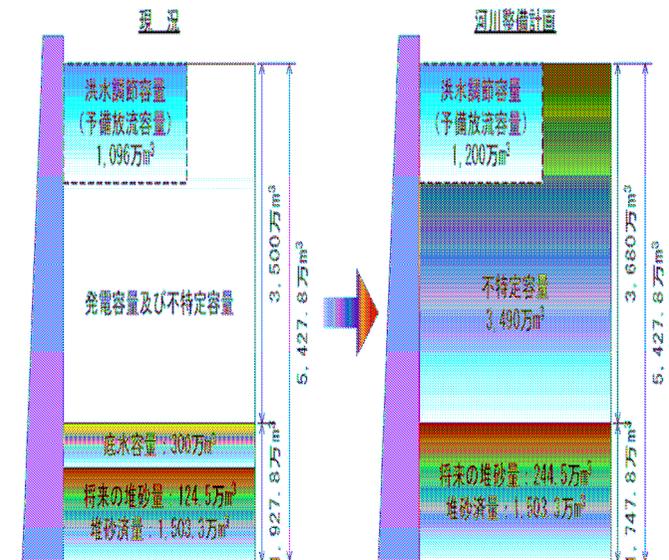
長安口ダム貯水池上流における堆砂除去、放流設備増強等に向けた諸調査、貯水池維持及び管理設備工事等を実施



長安口ダム



堆砂対策 (堆砂除去)

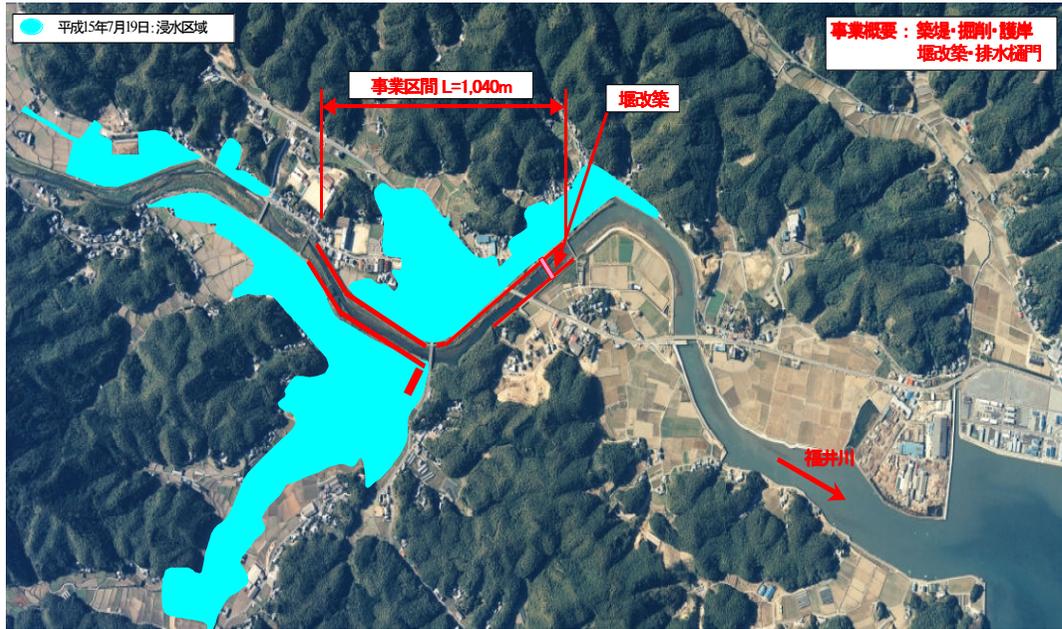


ダム容量の変更

水害・土砂災害対策の事業効果について

那賀川圏域

床上浸水対策特別緊急事業(福井川)



海部圏域

通常砂防事業(中野谷)



①事業目的

中野谷は、海陽町相川に位置し、二級海部川水系相川に流入する土石流危険溪流である。

流域面積は0.12km²で、溪岸の風化浸食が著しく、土砂の供給源となるなど異常気象時には甚大な被害を及ぼす恐れがある。

このことから、下流域の人家(8戸)及び県道・町道の保全を目的にえん堤工等による、土砂災害対策を実施した。

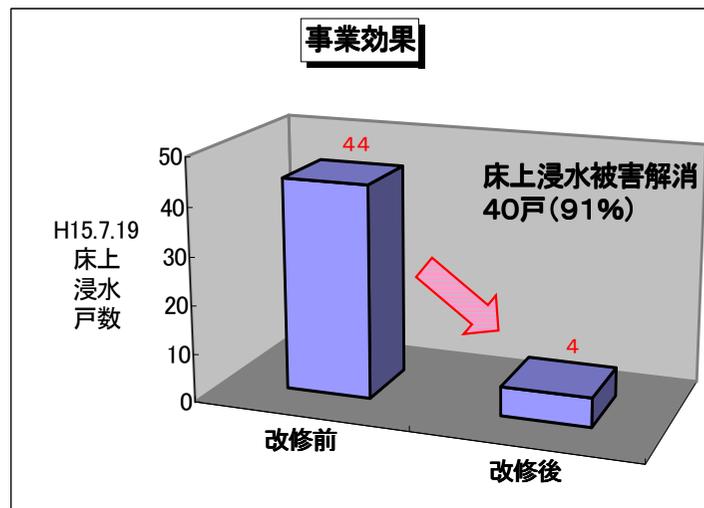
②事業概要

砂防えん堤 1基(H=13.5m L=45.4m)

溪流保全工 L=156m

③事業期間

平成14～16年度



平成20年度 事業箇所一覧

1. 吉野川圏域

直補	目的	事業名	箇所名	事業内容	所在地	事業主体
直轄	水害	直轄改修	吉野川(角の瀬)	角の瀬排水機場	徳島市	徳島河川国道
直轄	水害	直轄改修	吉野川(川島)	川島排水機場	吉野川市	徳島河川国道
直轄	水害	直轄改修	吉野川(加茂第一)	築堤工、用地買収	東みよし町	徳島河川国道
直轄	水害	直轄改修	吉野川(芝生)	築堤工、樋門工橋梁、用地買	三好市	徳島河川国道
直轄	水害	直轄改修	旧吉野川(新喜来)	用地買収	北島町	徳島河川国道
直轄	水害	堰堤維持	直轄ダム	適切な運用管理	—	吉野川ダム統管
直轄	土砂害	直轄砂防	熊谷	砂防えん堤工	三好市	四国山地砂防
直轄	土砂害	直轄砂防	第3久保上川谷	砂防えん堤工	三好市	四国山地砂防
直轄	土砂害	直轄砂防	あんどう谷	砂防えん堤工	三好市	四国山地砂防
直轄	土砂害	直轄砂防	寒谷上川	砂防えん堤工	三好市	四国山地砂防
直轄	土砂害	直轄砂防	菅生第3	砂防えん堤工	三好市	四国山地砂防
直轄	土砂害	直轄砂防	ケイ谷	砂防えん堤工	三好市	四国山地砂防
直轄	土砂害	直轄砂防	川崎	床固工、護岸工	三好市	四国山地砂防
直轄	土砂害	直轄地すべり	善徳	地すべり対策	三好市	四国山地砂防
補助	水害	広域基幹	飯尾川	護岸工、橋梁工等	石井町	徳島県
補助	水害	広域基幹	園瀬川	護岸工、用地補償	徳島市	徳島県
補助	水害	広域基幹	勝浦川	調査設計	徳島市	徳島県
補助	水害	地震高潮	多々羅川	旧水門撤去工	徳島市	徳島県
補助	水害	総合内水	飯尾川	護岸工、水門工	徳島市、石井町	徳島県
補助	水害	総流防	田野川	橋梁工等	小松島市	徳島県
補助	水害	総流防	立江川	護岸工、用地補償	小松島市	徳島県
補助	水害	総流防	熊谷川	掘削工、護岸工等	阿波市	徳島県
補助	水害	総流防	黒谷川	橋梁工、用地補償	板野町	徳島県
補助	水害	総流防	ほたる川	橋梁工、用地補償	吉野川市	徳島県
補助	水害	総流防	学島川	掘削工、用地補償	吉野川市	徳島県
補助	水害	総流防	正法寺川	掘削工、調査	藍住町	徳島県
補助	水害	総流防	明神川	掘削工、護岸工等	鳴門市	徳島県
補助	水害	総流防	勝浦川他	水位局増設	徳島市 他	徳島県
補助	水害	総流防	松茂町	ハザードマップ作成	松茂町	松茂町
補助	水害	堰堤改良	正木ダム	無停電電源装置更新・設計	上勝町	徳島県
補助	水害	河川総合開発	柴川生活貯水池	道路工等	三好市	徳島県
補助	水害	災害復旧	勝浦川外7箇所	護岸工他	美馬市他	徳島県
補助	土砂害	総流防	西の谷	砂防えん堤	つるぎ町	徳島県
補助	土砂害	総流防	古見谷	砂防えん堤	つるぎ町	徳島県
補助	土砂害	総流防	穴吹川	床固工	美馬市	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	赤野谷	砂防えん堤	三好市	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	猪鹿谷	床固工	三好市	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	道ノ上谷	砂防えん堤	三好市	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	猿子谷	砂防えん堤	三好市	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	西山谷	砂防えん堤	三好市	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	鶴石谷	砂防えん堤	三好市	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	大川持谷	砂防えん堤	三好市	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	城谷	砂防えん堤	東みよし町	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	美濃田一号谷	砂防えん堤	東みよし町	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	山内谷	砂防えん堤	つるぎ町	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	西谷	砂防えん堤	つるぎ町	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	芋場谷	流路工	阿波市	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	大谷	山腹工	上板町	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	月の宮3号谷	砂防えん堤	徳島市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	菅生左岸	土留工、水路工	三好市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	京上	横ボ-リング工、水路工	三好市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	釣井	横ボ-リング工	三好市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	有瀬	集水井、集水ボ-リング	三好市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	脇	横ボ-リング工	三好市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	政友	横ボ-リング工	三好市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	大申	横ボ-リング工	三好市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	府甲部	横ボ-リング工、水路工	三好市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	石の内	横ボ-リング工、水路工	三好市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	(吹)	ア-カー工、水路工	三好市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	加茂山	ア-カー工、水路工	東みよし町	徳島県
補助	土砂害	地すべり	三加茂桑内	横ボ-リング工	東みよし町	徳島県
補助	土砂害	地すべり	白内	集水井、横ボ-リング工	東みよし町	徳島県
補助	土砂害	地すべり	大内	集水井、横ボ-リング工	美馬市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	穴吹右岸(穴吹猿飼)	横ボ-リング工、水路工	美馬市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	下尾尻	横ボ-リング工、水路工	つるぎ町	徳島県
補助	土砂害	地すべり	葛城	横ボ-リング工	つるぎ町	徳島県

補助	土砂害	地すべり	白石	横ボ-リング工、法面工	つるぎ町	徳島県
補助	土砂害	地すべり	貞光猿飼	土留工	つるぎ町	徳島県
補助	土砂害	地すべり	楠根地	横ボ-リング工、水路工	吉野川市	徳島県
補助	土砂害	地すべり	北山	アカー工	佐那河内村	徳島県
補助	土砂害	地すべり	上分(金泉)	横ボ-リング工、法面工	神山町	徳島県
補助	土砂害	地すべり	黒木	アカー工、法枠工	神山町	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	原	擁壁工、落石防護柵	東みよし町	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	龍登(2)	擁壁工、落石防護柵	三好市	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	白地(5)	擁壁工、落石防護柵	三好市	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	勢力	擁壁工、落石防護柵	三好市	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	祖谷落合南	擁壁工、落石防護柵	三好市	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	滝下	法面工	美馬市	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	田井	擁壁工、落石防護柵	つるぎ町	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	前田	擁壁工、落石防護柵	つるぎ町	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	中藪(2)	擁壁工、落石防護柵	つるぎ町	徳島県
補助	土砂害	総流防	宿毛谷川	砂防えん堤	鳴門市	徳島県
補助	土砂害	総流防	檉原谷	砂防えん堤	上勝町	徳島県
補助	土砂害	総流防	基礎調査費	基礎調査	吉野川圏域	徳島県
補助	土砂害	総流防	花園窪	擁壁工、落石防護柵	三好市	徳島県

2. 那賀川圏域

直補	目的	事業名	箇所名	事業内容	所在地	事業主体
直轄	水害	直轄改修	那賀川(深瀬)	用地買収	阿南市	那賀川河川
直轄	水害	床上特緊	桑野川	築堤、用地買収、樋門、橋梁	阿南市	那賀川河川
直轄	総合開発	長安口ダム改造	長安口ダム	堆砂除去、改造設計、ダム管理	那賀町	那賀川河川
補助	水害	広域基幹	桑野川	掘削工、堰工、橋梁工等	阿南市	徳島県
補助	水害	広域基幹	岡川	築堤工、用地補償等	阿南市	徳島県
補助	水害	広域基幹	那賀川	調査設計	那賀町	徳島県
補助	水害	床上特緊	福井川	堰工、護岸工等	阿南市	徳島県
補助	水害	総流防	宮ヶ谷川	調査設計	那賀町	徳島県
補助	水害	総流防	苅屋川	護岸工、掘削工	阿南市	徳島県
補助	土砂害	総流防	横尾谷	砂防えん堤	阿南市	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	見堂谷	砂防えん堤	那賀町	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	東谷川	砂防えん堤	那賀町	徳島県
補助	土砂害	通常砂防	北地谷	砂防えん堤	那賀町	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	蛭地	擁壁工、落石防護柵	阿南市	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	大谷	擁壁工、落石防護柵	阿南市	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	南尻	法面工	那賀町	徳島県
補助	土砂害	総流防	西浦	排土工	阿南市	徳島県
補助	土砂害	総流防	基礎調査費	基礎調査	那賀川圏域	徳島県

3. 海部圏域

直補	目的	事業名	箇所名	事業内容	所在地	事業主体
補助	水害	総流防	穴喰川	掘削工、橋梁工等	海陽町	徳島県
補助	水害	総流防	奥潟川	掘削工、築堤工等	美波町	徳島県
補助	水害	総流防	穴喰川	水位局増設	海陽町	徳島県
補助	水害	災害復旧	北河内谷川	護岸工	美波町	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	中由岐	法面工	美波町	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	兼ヶ渚	擁壁工、落石防護柵	海陽町	徳島県
補助	土砂害	急傾斜	竹ヶ島	擁壁工、落石防護柵	海陽町	徳島県
補助	土砂害	総流防	基礎調査費	基礎調査	海部圏域	徳島県

□用 語 集

外水 がいすい 本川の流水。

外水氾濫 がいすいはんらん 堤外の水、すなわち河川からの流入水による洪水氾濫、その主な原因は、川からのはん濫、堤防の決壊である。

洪水調節容量 こうずいちょうせつりょう ダムで洪水調節のために一時的に洪水流量を貯める際に使われる容量のこと。

地すべり じすべり 斜面破壊のうち、比較的勾配の緩い斜面が広範囲にわたって長時間継続的、または断続的にゆっくりと滑動するもの。

支川 しせん 本川に合流する河川。

水害 すいがい 豪雨、高潮等によって、洪水や土砂流出が発生し、その結果、人的被害、各種構造物の損壊とそれに伴う社会的機能の低下等の被害を受けること

築堤 ちくてい 堤防を築造する工事。

堤防整備率 ていぼうせいびりつ 堤防整備が必要な延長に対する、堤防整備済（暫定堤防含む）区間の延長の比率。

天井川 てんじょうがわ 土砂生産の多い川において、土砂が河床に徐々に堆積する一方で、洪水氾濫を防止するために人工的に堤防を高めることとの競合により河床高が堤内地の地盤高よりも高い状態となった川。

土砂災害 どしゃさいがい 地盤を構成する土砂、礫、岩塊の物質移動の過程（侵食－運搬－堆積）で、引き起こされる災害の総称。誘因となるのは、主に、降雨、地下水、地震及び火山活動であり、現象としては通常、土石流、崖崩れ、地すべりに分けられる。

土石流 どせきりゅう 水と土、砂礫、転石の混合物が、ある傾斜角の斜面を重力の作用に基づいて一種の連続体としてかなりの速度で流動する現象。

内水 ないすい 本川の流水を外水と呼ぶのに対して、堤防で守られた堤内地の流水の呼称。河川に排水できずにはん濫した水

内水対策 ないすいたいさく 堤内地に湛水した水を堤外地（本川）に排水するための対策。内水排除の方法としては合流点に排水ポンプを設ける方法、背割堤を設けて合流地点を下流側へ移動させる方法、本川掘削により本川水位を低下させる方法等がある。

内水被害 ないすいひがい 洪水時に本川水位が上昇し、内水の排除が困難になって生じる湛水のこと。洪水が長引き堤内側の湛水深が大きくなると浸水による被害が増大する。

ハザードマップ 災害による危険をあらかじめ想定し、想定被害に対する避難場所、避難経路等を示した地図、災害予測図ともいう。

引堤 ひきてい 堤防間の流下断面を増大させるため、堤内地側に堤防を新築し、旧堤防を撤去すること。

崩壊 ほうかい 崖崩れ、山崩れ、表面崩壊。斜面崩壊の滑動速度が極めて速い。

無堤部 むていぶ 堤防を整備する計画があるが、現状で整備が為されていない箇所。

堤防から漏水 ろうすい 堤防内部に浸透した水が居住地側の地盤からわき出す状態を漏水といい、湧水量が多くなると居住地側から堤防を壊すことがあり、堤防の被災の原因の一つとなる。

漏水対策 ろうすいたいさく 漏水により堤防が危険な状況となることを防止するための対策。対策は、浸透をできるだけ防止する工法、浸透した水を速やかに排除する工法等に区分される。

水防団待機水位 すいぼうだんたいきすい 各水防管理団体が、水防活動に入る準備・待機を行うための水位。「指定水位」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

はん濫注意水位 はんらんちゅういすい 水害の発生に備えて、各水防管理団体が出動する目安になる水位。「警戒水位」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

避難判断水位 ひなんはんだんすい 水害の発生に備えて、市町村長の避難準備情報等の発令の目安となる水位。「特別警戒水位」として設定されていましたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

はん濫危険水位 はんらんきけんすい 洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の恐れがある水位。「危険水位」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。また、河川整備の目標としている水位。「計画高水位」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

〇〇川はん濫注意報 〇〇かわはんらんちゅういほう はん濫注意水位に到達し、さらに水位上昇が見込まれるときに、注意を促すために発表されます。「〇〇川洪水注意報」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

〇〇川はん濫警戒情報 〇〇かわはんらんけいかいじょうほう 避難判断水位に到達したとき、あるいははん濫危険水位に達すると見込まれるとき、厳重な警戒を促すために発表されます。「〇〇川洪水警報」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

〇〇川はん濫危険情報 〇〇かわはんらんきけんじょうほう はん濫危険水位に到達したときに発表されます。「〇〇川洪水情報」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

堤防の決壊 ていぼうのけっかい 堤防が崩壊し、川の水が堤防から流れ出すこと。「破堤、決壊」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

堤防の一部流出 ていぼうのいちぶりゅうしゅつ 堤防が激しい川の流れや波浪などで削り取られたり、雨の浸透により堤防の一部が崩れること。「欠壊」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

川からのはん濫 かわからのはんらん 川などの水があふれ出ること。「越水、溢水」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

浸水 しんすい ものが水にひたったり、水が入り込むこと。田畑や作物などが水にかぶること。「浸水、冠水」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

増水 ぞうすい **洪水** こうずい 大雨によって川の水が増えること。「出水」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

深掘れ ふかぼれ 堤防や川底の土が削り取られること。「洗掘」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

堤防斜面の崩れ ていぼうしゃめんのかずれ 雨の浸透や川の流れなどにより堤防の斜面が崩れること。「法崩れ」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

過去最高水位 かこさいこうすい 過去に観測された最高水位。「既往最高水位」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

過去最大流量 かこさいだいいりゅうりょう 過去に観測された最大の流量。「既往最大流量」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

水防警報河川 すいぼうけいほうかせん 国土交通大臣が洪水により国民経済上重大な損害を生じるおそれがあるとして指定し公示した河川。「水防警報指定河川」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

水位周知河川 すいしゅうちかせん 洪水の被害を少なくするために、市町村長が発令する避難勧告の目安となる水位を設定し、住民等に周知する河川。「水位情報周知河川」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

(排・取)水門 すいもん 川から取水したり川へ排水するために、堤防を横切って埋設させた水路。「樋門・樋管」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

排水ポンプ場 はいすいポンプじょう 本川の水位が上がり、支川などの水が自然に流れずに溜まってしまおうような時に、排水ポンプによりその水を排水して浸水被害の軽減する施設。「排水機場」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

堤防の上面 ていぼうのうわめん 堤防の一番高い面。「天端」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

〇〇市側 〇〇しがわ 今までは、「左岸・右岸」と呼ばれていたが、誤解を招くおそれがあるため、表現の改善を行った。

堤防の居住側 ていぼうのきょじゅうがわ 堤防の河川側が「堤外地」、住宅や町などがある側が「堤

堤防の川側 ていぼうのかわがわ 内地」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

河川敷 かせんじき 川の水が常時流れている低水路より一段高く、洪水の時には川の水が流れるところ。「高水敷」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

派川(分岐して流れる川) はせん ある川から分かれて流れる河川。「派川」と呼ばれていたが、住民がわかりやすくするために補足を行った。

国管理区間 くにかんりくかん 1級河川のうち国が管理する区間。「直轄区間」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

県管理区間 けんかんりくかん 1級河川のうち都道府県が管理する区間。「指定区間」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

居住側 きょじゅうがわ 住宅や町などがある側。「川裏」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

川側 かわがわ 堤防の川側。「川表」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

堤防斜面 ていぼうしやめん 堤防などの斜面。「法面」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

川沿い かわぞい 川沿いのこと。「沿川」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

設計最高水位 せっけいさいこうすいい ダムの設計に使われる水位で、ダムの安全性が保たれる最高の水位。「設計洪水位」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

洪水時最高水位 こうずいさいこうすいい 洪水調節に使用する最高の水位。「サーチャージ水位」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

平常時最高貯水位 へいじょうさいこうちよすいい 平常時にダムに貯められる最高の水位。「常時満水位」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

洪水貯留準備水位 こうずいちよりゅうじゅんびすいい 夏場、大きな洪水が発生するために平常時貯められることとした、水位を下げたその容量を大きくとるために常時満水位よりも水位を低下させる場合の水位。「洪水期制限水位」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。

強い雨が降る範囲 つよいあめがふるはんい 1時間に30mm以上の大雨が降ると予想される地域。「豪雨域」と呼ばれていたが、住民がわかりやすい表現に改善を行った。